

会 長	竹内 房男	所在地	鳥取市布勢 543-3
事務局長	中本 貴美	TEL/FAX	0857-28-1192 / 0857-28-1267
設立年月日	平成 21 年 5 月 14 日	Mail	cc-matsuho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,041 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/matuho-1
組織構成	総務・広報部、生活・安全部、福祉部、体育部、生涯学習部		

地域コミュニティ計画 『松保地区コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 21 年 12 月 8 日
- 支援宣言 平成 22 年 2 月 12 日
- 目 標 地域に誇りを持ち、皆が相互に支え合い活力ある安全・安心な地域づくりをめざす

◆ 地域の課題

松保地区においても、少子高齢化が急速に進行しており、それに伴い地域の伝統芸能や文化の継承者不在も大きな課題となっている。また、近年自然災害が多発し、かつ激甚化している状況で、地域住民の防災意識も高まっていることから、有事に即応できる体制の確立や災害から命を守る防災活動が求められている。

◆ 主な活動内容

事業①：地域の伝統芸能継承事業

現在松保地区では、7 集落で麒麟獅子舞が舞われているところだが、後継者不足からその存続が危ぶまれている。そこで、地域の伝統芸能である麒麟獅子舞を次世代に継承していくことを目的に、まず麒麟獅子舞を広く地域住民に知ってもらうべく、地区の敬老会の場において甲山神社の麒麟獅子舞を披露した。当日は、西里仁集落の 10 歳代から 60 歳代の 6 名が狸々、頭、笛、太鼓などの役で本舞を披露した。参加者は、迫力ある舞を間近で見て伝統芸能のすばらしさを再認識していた。

事業②：防災活動

松保地域づくり協議会の生活・安全部を中心に自主防災会や区長協議会などの各団体が連携して、松保地区では初めてとなる大規模な避難訓練を実施した。「大雨によるレベル 4 の避難指示が発出された」という想定で訓練が行われたところだが、要支援者への対応マニュアルの早期作成や災害対応への備品のさらなる充実などの課題が残った。

事業③：まちづくり先進地視察

防災活動の一環として、2018 年 7 月の西日本豪雨で甚大な被害が出た岡山県真備町を視察した。堤防の決壊や住宅の浸水被害などからの復興の様子を見学し、市職員と箭田地区まちづくり協議会の方から「逃げ遅れゼロ」を目標に防災活動を行っている取り組みについて話を聞いた。

◆ 今後の計画

防災や福祉、伝統文化の継承など地域課題の解決に向けて地域住民や各種団体と連携・協力しながら活動をしていく。また、地域住民の交流を深める「ふれあい運動会」や「パフォーマンス発表会」などの事業も再開していく。

- 総務・広報部：①まちづくり先進地視察研修（9 月）②広報紙「かがやき」年 2 回発行（9 月・3 月）
- 生活・安全部：①松保地区防災訓練（10 月）
- 福祉部：①福祉研修会（6 月）②福祉施設視察研修（10 月）
③料理教室（2 月）④くつろぎカフェ（毎月 2 回程度）
- 体育部：①「ふれあい運動会」（9 月）
- 生涯学習部：①地域の伝統芸能「麒麟獅子舞」披露（9 月）②地域の宝を巡る（10 月）
③人権講演会（11 月）④パフォーマンス発表会（11 月）